



## 「コロナ禍の中で」

河合町 坂本 和美さん

息子が12才の時に育成会に入会し、今、36才になろうとしています。早いもので24年も育成会にお世話になっております。その息子の楽しみといえば、年1回のバス旅行です。(バスに乗るのだけが楽しみなのですが...) 会員の子供達に楽しんでもらうため、毎年、町のバスを使わせて頂き、神戸や伊勢志摩など遠出をしていたのですが、最近のコロナ禍で、それもできなくなり、残念な年が続いています。コロナを理由に行事を止めては子供達の楽しみを奪うことになってしまいますし、いつ収束するのか目途の立っていない今、「バス旅行」をやめ、近場で何かできることはあるのか?と考えました。幸いにも、河合町には、「馬見丘陵公園」があります。子供達も年を重ね、あまり動かなくなってきたのが親達の悩みでもありました。そこで「歩け!! 歩け!!」と銘打って運動不足解消のため「近くに素晴らしい公園があるのだから四季折々の花を愛でながら散策しましょう!!」と呼びかけました。1回目は、6月19日に決行し、沢山の参加者があり、美しい花しょうぶを見ることができました。次回は11月頃に紅葉狩りです。もう一つは「ブルーベリー摘みを楽しんで、ジャム作りをしよう!!」と企画しました。三郷町にあるちろば園のブルーベリーオーナーに申し込みをし、木を3本購入しました。7月31日に沢山の子ども達が楽しんでブルーベリーを一粒一粒収穫し、味見をした子供達からも「あま〜い」とうれしい声が聞けました。真夏の暑い日でしたが、どの子もブルーベリーを採る目は真剣で、採れた沢山の果実を見て、ニコニコの笑顔でした。この日は親達も大変でしたが「やって良かったなあ...。」と思いました。次は9月4日にジャム作りです。今から子供達のどんな顔が見られるのかな?と楽しみです。



私は、昨年2月に腰の手術を受けました。できるなら手術なしでよくならないかと思っていましたが、段々と歩くのもままならなくなり、二週間の入院となりました。重度の息子の事・家の事など心配事がいっぱいでしたが、コロナ禍にもかかわらず、心良くショートを引き受けて下さった学園の園長先生や職員の方々のお陰で安心して入院することができました。学園の園長先生はじめ、お世話いただいた職員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、退院してから思うように歩けず、とても重度の息子を家でみれる状態では無く、退院後も一週間のショート、二週間のショートと学園さんにお世話になりました。現在も毎週末お願いしています。通所で通っている施設にも、送迎していただけるようになり、本当に助かっています。歯科通院やワクチン接種の時には、ヘルパーさんや施設の職員さんにいっしょにいてもらうようになり、いろいろと変わりました。食事も排泄も介助が必要だし、簡単な事は理解できますが言葉も出ず、お世話していただくことばかりです。おまけに母親の私に対しては、気に入らない事があれば、髪の毛をひっぱったり、叩きにきたりします。夜も何度も起きてなかなか熟睡せずしんどいことが多いです。手術後の今も私の身体は元に戻っておらず、今までは「なるべく自分でやろう」という気持ちが強かったのですが、自分で病院や散歩も連れて行ってあげられないので「もっと気軽に使える色々なサービスがあれば助かるのになー」と思うようになりました。行政に働きかけて行くことも大事な、と思います。私たち親も還暦近くになり「重度の息子をいつまで家でみれるかな」と思うことが増えてきましたが、今のこのリズムで少しでも長く息子と生活できたらと願っています。



お気に入りアイテム S字フックとコーヒー

## サンメイト

サンメイトでは「コロナになんか負けないで、がんばるぞー！おー！！」と言ってハンドベルで『きらきらぼし』『ふるさと』を演奏しました。いろんな音が集まって一つのステキなメロディーになる。まさに育成会のめざす世界とおもいます。上手に出来なくていいんです、みなさんも気軽に参加してくださいね。サンメイトのTシャツ、サンメイトの活動にきて、ぜひ着てください。あたたかいオレンジ色で、元気が出ますよ！。

